



陸軍

調製官 陸軍軍醫少佐 安藤 正孝

期

昭和三年
自上月日
至上月日

大東亞戰爭關係衛生史編纂資料

中華民國
江西省
新建縣吳城

陸軍第七旅團

一 部隊行動概要

兵團前同様吳城周邊地區に宿營し宿舎を増設し光備を環境整理等を実施しト共越冬準備遺糧ナキヲ期スル傍復員業務を邁進ス各部隊に宿營地衛生管理の急務ヲ期ス保育衛生ニ重點ヲ指向シ各種方法依リ体力の鍊磨ヲ圖ル外歸還後ノ職業輔導教育ヲ實施シ實習ヲ兼不駐留間必需物資を現地自活ヲ開始ス

十一月五日中國軍勤務トシテ兵團ヨリ派遣シアル第五十八軍馬管理部隊ヲ更ニ強化シ將校以下四十五名ヲ同月六日縫工技術者二名ヲ第九戰區兵站總監部九江前進指揮所ニ夫々派遣ス尚南潯運命第七五號ニ據リ將校以下十名ヲ以テ南昌連絡所ヲ開設ス兵團配屬ノ自動車第六十九大隊及其他若干名ハ依然第九戰區長官部ニ勤務シテリ

司令部主要行事

(1) 每週三回高級部員會報ヲ實施ス(復員業務關係)

(2) 十月二十日旅團長吉山吳地區(第五大隊)ヲ巡視ス

(3) 同月二十日司令部及直轄部隊内務検査ヲ實施ス

(4) 同月二十日旅團長吳城地區ヲ巡視ス

(5) 同月二十九日部隊長會同ヲ實施ス

又轄下部隊行動概要

(1) 獨歩兵第三大隊

吉山地區三宿營ニ屢ニ體育大會(足球、馬戰、成敗)ヲ開催シ体力ノ鍊

磨ヲ圖ル

(2) 獨歩兵第三大隊

大塘街地區三宿營ニ越冬並ニ及職業補習道致有シ体力鍊成ヲ計畫實施ス

又

(3) 獨歩兵第三大隊

程村地區之位置之職其神事教育也自右ノ開始ス

(4) 獨歩隊之天略

越之在衛之環境整理ノ實施之中心兵衛員之義務之迅速ス

二、衛生勤務ノ大要

保養衛生及防疫ニ意思ヲ置キ各部隊其衛生巡察ヲ設キ衛生管理通
 告期ヲ特防度別ニ設置吹事及給水ノ衛生管理ノ關係ヲ注意ス
 衛生員ヲ養成シ環境整理等ノキ強ク之指導又一部隊ノ保養衛生員
 之勤兵ノ保養ヲ適切ニシ各部隊外環境整理ノ指導ヲ勤
 休ノ健康ニ遺憾ナクシテ其健康材料ノ現存ニ注意ス
 保養員ノ則チ 衛生員ノ關係ニ各條ニ於テ之關係ニ由リ
 是ノ研究書類 整備等ノ迅速スルニ關係ヲ開始ス
 對外國人診察ノ部隊中ニ診察所ヲ設キ其一部隊及新進兵ノ衛生員
 之來源ヲ詳ニ把握スルニ於テ重點的ニ實施ス
 兵團配屬中ノ兵士ノ疾病院中ニ治療所ノ設備ヲ行ハシメ

號三豫小原所屬復歸ヲ命セリトノ以テ兵備別自給以人員
十月三十日廢長所ノ開設實效ニ其務ヲ繼承ス
人軍醫部出立ニ付申

(1) 高熱對症ノ兵醫及方士兵使隨處隨行備置有之

(2) 下ノ日患者救急所ノ歸心要員及兵醫ヲ劍道又

(3) 三十日ニ而患病者漸減シテ引越シテ其後ヲ周知ス

(4) 會館敷地ノ清掃及消毒ノ務ヲ各派ノ隊員ニ任セシメ

(5) 救急所ノ設テ大隊

舎營邊衛生處長ヲ派シテ外ノ諸事ヲ兼管中隊

備付ス

(6) 獨歩隊第三六八隊

保健衛生週間ノ設ケ外週二回衛生巡察ヲ行ノ尚保管ノ勤共ニ期

スル爲個人携行衛生材料ヲ醫務室ニ送納セシメテ其衛生材料檢

査ヲ實施ス

(3) 獨歩兵第三七大隊

衛生材料検査ヲ實施スル外衛生講話ヲ實施ス

(4) 獨歩兵第三七大隊

各中隊本部ニ簡易濾水器ヲ設置スル其他各營區衛生指導

ヲ實施ス

三、衛生機關ノ状況

吳城患者療養所 第八中隊ノ原所屬復歸ヲ命ゼラレ十一月三十日

二回ヨリ以テ病室ノ設備一新ニシテ記録帳表ニ據リ吳城患者療養

所 衛生材料検査ヲ實施スル外衛生講話ヲ實施ス

施設改善後各力ノ擴充ヲ圖ル

左記

吳城患者療養所 第五歩兵隊 衛生材料検査 衛生講話 衛生指導

衛生材料検査 衛生講話 衛生指導

衛生材料検査

新患内詳

傳染病	小性	其他	病名	赤痢	マラリア	胃腸炎	胸膜炎	熱性病疑	徽毒
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計

月末現在部隊別病類別入院患者数、如シ

陸軍

八、兵站輸送人
 迅速に入院を要する患者は八傳染病患者は第九後方病院（南島）
 入院せよ

九、手術を要する患者は第九後方病院の諸施設を利用して手術せよ

五、患者の状況

多くの患者は人数より傳染病入りの女性患者（三名）及赤痢
 七名散在し、性病患者は再發二例あり

六、部隊患者の状況左の如し

區	部隊別	合計	歩	騎	砲	工	醫	計
月	陸軍	六〇	八八	一一	七二	九四	一八	四四二
月	海軍	五九	八八	七五	九〇	一〇	三一九	

八月間新患内譯

區分	部隊別	司令	副司令	主任	副主任	大尉	中尉	少尉	大士	中士	少士	計
マヲリア		二	三	四	一	五	四	四	六	二	一	一
結核性疾患												
胃腸疾患		一	六	一	六	五		八	一	一	四	二
脚氣												
感冒		一	一									
外被病			二		七							
性病												
其他		九	二	三		四	二	三	九	一	八	二

傳染病患者ノ状況
 月間傳染病發生總數七名河上ノアノバ性赤痢ニシテ獨歩ノ疾
 三六八人隊ニ於テ發生セルナリ
 六保育ノ状況
 終戦前下兵禁ハ火ノ異リ体力ノ消耗ハ緩和セシメ給養ノ不

0216

各部隊ハ軍紀ノ維持ニ努ムルト共ニ充實セリ日課ノ送ル如ク計畫指
示シテ之ヲ依リテ體操ヲ演習シ、演習等體力ノ錬磨ニ圖ルニ由ル
大ナル懸懸アリ

各部隊ハ軍紀ノ維持ニ努ムルト共ニ充實セリ日課ノ送ル如ク計畫指
示シテ之ヲ依リテ體操ヲ演習シ、演習等體力ノ錬磨ニ圖ルニ由ル
大ナル懸懸アリ

各部隊ハ軍紀ノ維持ニ努ムルト共ニ充實セリ日課ノ送ル如ク計畫指
示シテ之ヲ依リテ體操ヲ演習シ、演習等體力ノ錬磨ニ圖ルニ由ル
大ナル懸懸アリ

各部隊ハ軍紀ノ維持ニ努ムルト共ニ充實セリ日課ノ送ル如ク計畫指
示シテ之ヲ依リテ體操ヲ演習シ、演習等體力ノ錬磨ニ圖ルニ由ル
大ナル懸懸アリ

各部隊ハ軍紀ノ維持ニ努ムルト共ニ充實セリ日課ノ送ル如ク計畫指
示シテ之ヲ依リテ體操ヲ演習シ、演習等體力ノ錬磨ニ圖ルニ由ル
大ナル懸懸アリ

各部隊ハ軍紀ノ維持ニ努ムルト共ニ充實セリ日課ノ送ル如ク計畫指
示シテ之ヲ依リテ體操ヲ演習シ、演習等體力ノ錬磨ニ圖ルニ由ル
大ナル懸懸アリ

平均体重 最高体重 最低体重

五五八頁 七三五頁 四一六頁

七、防疫及防癘ノ状況

ハ、指瀋各地ノ華民邑ニ係シテ、在關係上中國人ト接觸機待ニ多キ

ヲ以テ左記事項ニ関シ、嚴ニ監督指導シテ

中、中國人ヨリ飲食品ノ購入嚴禁

四、給水源ハ中國人トノ共用箇所多キヲ以テ衛生慮水機及簡

易濾水器ノ活用ニ努メ、飲料水及洗面用水ノ使用ヲ適切ナ

ラシム

(一) 防疫所ノ設置ニ努ム

(二) 炊事ノ衛生防疫的管理

(三) 中國側傳染病發生状況ノ調査ニ實況把握ニ努ム

(四) 防疫用材料ハ相當品保存シテ、檢査支障ナシ、且シ病源

檢索材料ハ不足ニテ、實施用難ナリ

(五) 防癘ノ状況ハマシリア患者依然多發ニテ、以テ檢査ヲ實施シ

東京小浪納

徹底治療ニ努ム

八 衛生材料ノ状況

(1) 駐留間及歸還輸送間並ニ個人携行用トシテ概不所要量ヲ確保シタルモ復員時期不明ナル現況ナラシテ防護等用ニ如カムト共ニ消費計畫ヲ樹クシ消費ノ適正ヲ圖ル外屢々検査ヲ實施シ以テ保管状況ヲ明カラスシム

(2) 本期間各部隊ニ於テ衛生材料ノ検査ヲ實施ス

(3) 個人携行衛生材料ハ保管ヲ確實ナラシムルノ以テ一時醫務室ニ返納セシム

九 一般衛生ノ状況

(1) 宿營状況ハ前回同様廟或ハ草々ノ既設家屋等ヲ利用シアルモ狹隘ニシテ採光採風共ニ不長ナリ

(2) 給水ハ河水井水及クワック水ノ使用ナリ 水質ハ良好ナラス

(3) 給與ハ中國側ヨリ受ケ概不充足トナレリ

一日給與量概不左、如シ

品目	目數稱數	量	品目	目數稱數	量
現地米	六〇〇	食	塩	反	二五
生野菜	三四〇	砂	糖	〃	五
肉	三〇	茶	〃	〃	三

十人事三関スル事項

左記、如ク人事ノ異動アリ

左記

新所屬	旧所屬	發令月日	官階級	氏名
衛生少尉	第上軍司令部	昭三〇二二〇	軍醫大尉	鬼倉國次
衛生少尉	第七七兵站病院	昭三〇二二三	軍醫少尉	酒井藏之進
衛生少尉	〃	〃	衛生少尉	齋藤一二三
衛生少尉	〃	〃	服部	薫
衛生少尉	〃	〃	衛生兵長	内藤敏男

東京小冊稿

0220

十一 對中國人診療狀況

對赤的ニ極メテ重要ナル部面ナルヲ以テ材料ノ許ス限リ努メテ懇切丁寧ニ實施シテリ

呉城ニ於テハ一日約三十名ノ來患アリテ民衆ハ好感ヲ以テ迎ヘテリ

日本軍ニ對スル民衆ノ感情極メテ良好ナリ 尚鎮公所及中國軍

了解ノ上呉城小學校兒童約百名ノ身体檢査及有疾兒童ノ

治療ヲ實施シ感謝セラル

十二 接收ニ関スル涉外事項 ナシ

十三 内地歸還ニ伴フ衛生諸般ノ處置トシテ

ノ自給自給對策 特記事項トシ

又一般傷病及傳染病發生狀況 第五項參照

又マラリア、性病患者ニ對スル處理

〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
						櫻木新市	牟田武友

マリア⁷ハ治療薬ヲ比較的少量ニ保有シテ以テ一齊検査
 依ル根治ヲ期シアリ 一部ニ於テハ實施済ナリ
 性病患者ニ對シテハ前回同様ノ處置ヲ取リアリ
 患者ノ後送狀況 本期間後送ナシ
 居留民ノ衛生指導 特記事項トシ
 6. 検査
 検査材料不足ニテ以テ將來検査ヲ實施スル場合ヲモ考慮
 シ補給ヲ受ケル外ナシ

東京小澤

0222